

令和4年度

# 事業報告書

社会福祉法人 池田市社会福祉協議会

# 目 次

社会福祉法人 池田市社会福祉協議会 令和4年度事業概要	1
令和4年度 事業報告（拠点区分・サービス区分別）	
1. 法人運営	3
2. 善意銀行運営事業	1 4
3. 地域福祉事業（小地域ネットワーク事業）	1 5
4. ボランティアセンター事業	2 2
5. ファミリー・サポート・センター事業	2 8
6. 日常生活自立支援事業	3 1
7. 大阪府生活福祉資金貸付事業	3 2
8. コミュニティソーシャルワーカー設置事業(いきいき地域支援事業)	3 3
9. 食でつながる共生のまちいけだ	3 5
10. 意思疎通支援事業	3 7
11. 紙おむつ給付事業	3 8
12. 生活支援体制整備事業	3 8
13. 有償協力員派遣事業（にじの会）	4 0
14. 訪問介護事業	4 2
15. 障がい者総合支援事業	4 3
16. 移動支援事業	4 3
17. 居宅介護支援事業・介護予防支援事業	4 4
18. 障がい者地域生活支援センターひだまり	4 5
19. 池田市さわやか地域包括支援センター	4 5
20. 池田市保健福祉総合センター管理運営	4 8

# 社会福祉法人 池田市社会福祉協議会

## 令和4年度事業概要

池田市社会福祉協議会では、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、「ウィズコロナ」を意識し事業を継続的に実施しました。新型コロナウイルス感染症特例貸付への相談対応や貸付終了後の対応、工夫を凝らしながら実施した地域でのつながりと支え合い活動への支援、滞りのない利用者への在宅福祉サービスの実施、コロナ禍から続く生活困窮や社会的孤立などの地域においてより深刻化した生活課題を抱えた方々を支援するための取り組みの実施など、社協の使命である「だれもが安心して暮らせる福祉のまち」の実現を目指して、地域住民、行政や関係機関・団体と協働し、一人ひとりの暮らしを守る活動を行ってまいりました。また、昨年度から進めていた「第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画」を池田市と一体的に策定し、来年度から5年間の地域福祉をすすめるための方向性を示すことができました。

### 【重点目標の概況】

#### ◎新型コロナウイルス感染拡大の影響への対応とポストコロナを見据えた地域づくりへの取り組み

新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いている状況下において、ICTを活用しての会議のオンライン化、facebook や YouTube チャンネルを活用しての地域活動などの情報提供などを進めました。また、昨年度に引き続き、コロナ禍で様々な生活上の変化が生じるなかで、工夫を凝らしながら「食でつながる共生のまちいけだ」を実施し、「食」を通じてあたたかなつながりを感じていただく機会を設けました。

#### ◎池田市との協働による第5次池田市地域福祉活動推進計画の策定

池田市において地域共生社会を実現するために、池田市と池田市社協の合同事務局を設置し、令和5年度に向けて「第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画(i-プラン)」の一体的策定に取り組みました。令和4年度は、池田市と合同で「第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画策定委員会」を開催するとともに、各小学校でワークショップを開催し、地区福祉委員会を中心に地区活動計画を策定しました。

### ◎小地域ネットワーク活動の活性化と関係団体との連携

地区福祉委員会で進める個別援助活動とグループ援助活動については、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、従来通りの活動はなかなか実施できない状況が続きましたが、そのような中でも、各地区福祉委員会では、小地域ネットワーク活動がめざす「人と人とのつながり・支え合い」を絶やさないよう、新しい生活様式に基づき、工夫を凝らした活動を展開しました。

### ◎良質な介護サービスの提供と事業経営の効率化

介護保険事業・障がい者総合支援等の事業の制度改正の影響、他事業所との競争や介護人材不足等により、在宅福祉関係事業の採算は大変厳しい状況になっていますが、少数精鋭の人員配置と事業の効率化を図り経営の安定化に努めました。また、令和4年9月末をもって居宅介護支援事業所を廃止し、ご利用者の事業所移行を行いました。

### ◎経営基盤の安定と活動財源の確保

活動財源の確保については、会員会費の増強、寄附金の確保などに努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受け、昨年が続いて減収となりました。一方、本会が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた市民への生活資金貸付業務を行っていること等に対し、公的な補助や助成を得ることができ、コロナ下での経営基盤の安定化の一助となりました。

### ◎地域福祉の情報発信基地としての保健福祉総合センター体制整備

平成29年度から指定管理者となり、管理運営を強化するとともに、地域に開かれ、賑わいのあるセンターを目指し、各種事業を企画実施してきました。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、池田市による新型コロナワクチン接種会場の設置・運営、センターの利用制限など感染防止に努めながらの運営となりましたが、そのような中でも、安定的な管理運営と各種企画の継続的实施により、センターの利用促進に努めました。

# 令和4年度 事業報告

## 1. 法人運営

### 〔1〕理事会

開催数：4回

開催日	主 な 議 題	出席者
4.6.2	1. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 2. 令和3年度事業報告及び決算について 3. 令和3年度監査報告について 4. 令和4年度第1次補正予算について 5. 顧問の選任について 6. 評議員候補者の推薦について 7. 評議員選任・解任委員の選出について 8. 令和4年度第1回評議員会の議題等について	13人
4.9.22	1. 常務理事の選任について 2. 事務局の組織及び事務処理規則の一部改正について 3. 職員就業規則等の一部改正について 4. 会長及び常務理事の職務執行状況について	13人
4.12.22	1. 職員給与規則の一部改正について 2. 令和4年度第2次補正予算について 3. 評議員候補者の推薦について 4. 令和4年度第2回評議員会の議題等について	13人
5.2.28	1. 職員給与規則の一部改正について 2. 定款の一部改正について 3. 経理規則の一部改正について 4. 令和5年度事業計画及び予算について 5. 令和5年度補償契約及び役員等賠償責任保険契約の内容について 6. 会長及び常務理事の職務執行状況について 7. 令和4年度第3回評議員会の議題等について	9人

## [2] 評議員会

開催回数3回

開催日	主 な 議 題	出席者
4.6.21	1. 令和3年度事業報告及び決算について 2. 令和3年度監査報告について 3. 定款の一部改正について 4. 令和4年度第1次補正予算について 5. 理事の選任について	23人
5.1.12	1. 令和4年度第2次補正予算について	22人
5.3.9	1. 令和5年度事業計画及び予算について	17人

## [3] 三役会

開催数:4回

開催日	主 な 議 題	出席者(人)
4.5.24	1. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 2. 令和3年度事業報告及び決算について 3. 令和3年度監査報告について 4. 定款の一部改正について 5. 令和4年度第1次補正予算について 6. 顧問の選任について 7. 評議員候補者の推薦について 8. 評議員選任・解任委員の選出について 9. 令和4年度第1回評議員会の議題等について 10. 理事の選任について	9人
4.9.12	1. 常務理事の選任について 2. 事務局の組織及び事務処理規則の一部改正について 3. 職員就業規則等の一部改正について 4. 会長及び常務理事の職務執行状況について 5. 池田市への予算要望について	9人
4.12.12	1. 職員給与規則の一部改正について 2. 令和4年度第2回補正予算について 3. 評議員候補者の推薦について 4. 令和4年度第2回評議員会の議題等について 5. 善意銀行の運営について	9人

5.2.13	1. 職員給与規則の一部改正について 2. 定款の一部改正について 3. 経理規則の一部改正について 4. 令和5年度事業計画及び予算について 5. 令和5年度補償契約及び役員等賠償責任保険契約の内容について 6. 会長及び常務理事の職務執行状況について 7. 令和4年度第3回評議員会の議題等について	8人
--------	---	----

## [4] 研修活動及び行事

開催数:0回

開催日	研修及び行事名	場所	主な参加者
5.1.13	令和5年(2023年)新年互礼会	池田市民文化会館	<中止>

## [5] 役員等連絡調整会議及び研修会

開催日	会議・研修会名	場所
4.4.14	大阪府市町村社協連合会総会	大阪府社会福祉会館
4.4.14	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	大阪府社会福祉会館
4.7.7	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	大阪府社会福祉会館
4.7.7	大阪府市町村社協連合会会長事務局長研修会	大阪府社会福祉会館
4.8.17	北摂地区社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議	オンライン
4.9.8	大阪府市町村社協連合会事務局長会議	大阪府社会福祉会館
4.9.8	大阪府市町村社協連合会事務局長研修	大阪府社会福祉会館
4.11.10	大阪府市町村社協連合会事務局長会議	大阪社会福祉指導センター
5.2.2	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	国民会館大ホール
5.2.17	北摂地区社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議	オンライン

## [6] 事務局体制の整備

### (1) 課長会

社協事務局3課の情報共有と部署間の連携を促進するため、毎月原則最終火曜日に課長会を開催しました。

### (2) 人事評価制度

池田市において新しい人事評価システムを導入し効果が上がっていることから、社協においても従来の人事評価システムに換えて、池田市の新人事評価システムを簡略化したものを導入し、平成30年度から試行的に実施しています。今年度も、社協の事業推進期間にあわせ、評価期間を半年から1年に延ばし、さらに試行を重ねました。

### (3) 職員ミーティング

職員間の一体感の醸成と、情報共有と部署間の連携を促進するため、原則毎月1回全職員参加による職員ミーティングを開催してきました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大期には中止したため、計10回のミーティング開催にとどまりました。

## [7] 広報啓発活動

### (1) 広報紙「いけだの社協」の発行

市民へ社協活動や社会福祉に関する啓発、宣伝を行うために、広報紙を年4回発行。各号53,900部印刷し、市報「広報いけだ」に折り込み、市内全戸に配布しました。

今年度よりボランティアセンター情報紙「ふれあい」と合併。広報委員会を開催し(180号のみ新型コロナウイルス感染症の影響で開催せず)、ひとつの広報紙として社協事業のPR、住民の地域福祉活動参加への呼びかける紙面づくりに取り組みました。

号	発行日	主な内容
180	4.5.1	① 社協会員募集 ② コロナ禍でも暮らしをまもりつながりつづけたい ～これまでの池田市社協の活動～ ③ 令和4年度社協事業計画・予算
181	4.8.1	① フードパントリー 食でつながり・支え合い 第2章 ② 令和4年度学生ボランティアプロジェクト始動 ③ 令和3年度事業報告・決算
182	4.10.1	① 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ② フードパントリー 「食」でつくるあたたかなつながり ③ 日常生活自立支援事業 ④ 令和4年度学生ボランティアプロジェクト



183	5.2.1	① いろいろやっていますよ 地区福祉委員会の活動 ② 「サポステ」説明会を開催します 居場所「つむぎ」に来ませんか？ ③ 令和4年度共同募金運動にご協力ありがとうございました ④ 外国人介護士をサポートするボランティア スポイの会
-----	-------	--

## (2)ホームページの運営

市民に対して、24時間の情報提供を目的としてホームページを公開。適宜、内容を更新し、積極的に社協事業をPRしました。

特に、各地区福祉委員会の活動ページにおいて、地区活動の情報提供に努めました。

# [8]社協会員

## (1)住民会員会費状況

地区名	一般会員		賛助会員		特別賛助会員		名誉会員		会員数合計(口)		会費総額 (円)
	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	前年度	今年度	
秦野	994	497,000	57	114,000	7	70,000	0	0	1,100	1,058	681,000
北豊島	641	320,500	55	110,000	7	70,000	0	0	744	703	500,500
細河	710	355,000	7	14,000	2	20,000	0	0	730	719	389,000
石橋南	305	152,500	100	200,000	9	90,000	1	50,000	436	415	492,500
緑丘	456	228,000	47	94,000	1	10,000	0	0	556	504	332,000
呉服	1,296	648,000	120	240,000	19	190,000	0	0	1,510	1,435	1,078,000
石橋	456	228,000	44	88,000	4	40,000	0	0	517	504	356,000
神田	441	220,500	24	48,000	0	0	0	0	482	465	268,500
五月丘	124	62,000	5	10,000	0	0	0	0	147	129	72,000
池田	951	475,500	62	124,000	17	170,000	0	0	1,050	1,030	769,500
伏尾台	441	220,500	8	16,000	5	50,000	0	0	444	454	286,500
事務局	233	116,500	2	4,000	2	20,000	2	100,000	232	239	240,500
合計	7,048	3,524,000	531	1,062,000	73	730,000	3	150,000	7,948	7,655	5,466,000

## (2)組織構成会員入会状況

領 域		加入団体数(団体)
I	住民代表的な性格のつよいもの	18
II	福祉専門機関・団体的性格のつよいもの	26
III	当事者団体的性格のつよいもの	4
IV	関連分野団体	11
V	その他	0
合 計		59

## [9] 池田市社会福祉施設連絡会

池田市内の社会福祉施設及び社協が連携し、連絡調整、交流並びに社会貢献事業への協力等を図り、地域福祉の推進ならびに施設福祉の充実・発展に努めることを目的に活動しています。

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症のため活動に制限がありましたが、総会・先進取り組み事例報告・研修会などを通じて、施設会員間の交流や相互理解を深めることができました。

会員数 (5.3.31 現在)	会員施設種別			
	高 齢	障がい	子ども	その他
16 法人	7 法人	4 法人	4 法人	1 法人

## [10] 地域福祉活動推進計画 (i-プラン) の策定・推進

### (1) 第4次池田市地域福祉活動推進計画 (i-プラン) の推進

平成 29(2017)年度から令和 4(2022)年度までの6年計画の6年目として、計画の理念である「すべてのひとが、住み慣れた地域においてその人らしく、いきいきと豊かに安心して生活をおくり、ともに社会参加のできる福祉のまちづくり」実現に向けて活動をすすめました。

### (2) 第5次池田市地域福祉活動推進計画 (i-プラン) の策定

令和 5(2023)年度からの次期計画のために令和3年度と令和4年度の2ヵ年をかけて策定を行いました。同時期に策定され、理念を同じくする「地域福祉計画」(行政計画)とは、第4次計画では連携して策定しましたが、今回はさらに進んで一体の計画として策定しました。

#### ① 合同事務局の設置

計画を一体的に策定するため、池田市福祉部高齢・福祉総務課と社協の双方から3名ずつ事務局職員を出し、合同で計画策定をすすめました。

#### ② 第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画策定委員会の開催

公募の市民・市内に勤務する方、市内で社会福祉事業関係者、地域福祉活動を行う方、学識経験者、関係行政職員等17人による構成の策定委員会を設置開催しました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者
3	4.10.19	市役所3階 議会会議室	・地区活動計画の策定について ・計画素案について	12 人

4	5.1.23	府市合同庁舎 5階 大会議室	・パブリックコメントの結果について ・計画(案)について	11人
---	--------	-------------------	---------------------------------	-----

### ③素案検討委員会の開催

行政の関係次課長 14人で委員会を設置し、行政の庁内調整と合意形成、素案の検討等を行いました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者
4	4.6.23	市役所3階 議会会議室	・地域福祉にかかる現状データ ・庁内関係課調査 ・実務担当者会議の進捗報告 ・住民懇談会の進捗報告	13人
5	4.9.1	市役所3階 議会会議室	・計画素案について	13人
6	4.10.6	市役所3階 議会会議室	・地区活動計画の策定について ・計画素案について	13人

### ④住民懇談会および地区活動計画

各地区で2回の住民懇談会を行い、参加者の意見をまとめ、令和5年度から令和9年度までの5年間の「地区活動計画」を策定しました。

#### ・住民懇談会の内容

1回目	① 「10年後どんな地域になってほしいか」「どんなまちにしたいか」をテーマに意見を出し合う。 ② ①を実現するためにすることを考える。
2回目	① 1回目で出た意見を踏まえて、目指す地域像を実現するためにどうしていくか、さらに具体的な活動について考える。

#### ・住民懇談会の開催状況

地区名	回数	開催日	会場	参加者	参加団体
伏尾台	1回目	5/29 (日)	伏尾台コミュニティセンター第1会館	22人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・子ども会・自治会・単体老人クラブ・スポーツクラブ・防犯委員
	2回目	7/24 (日)	伏尾台コミュニティセンター第1会館	28人	
細河	1回目	5/29 (日)	細河コミュニティセンター	17人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・地域包括支援センター・2層生活支援コーディネーター
	2回目	9/11 (日)	細河コミュニティセンター	12人	
秦野	1回目	5/29 (日)	南畑会館	23人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・自治会・町会・子ども会・小学校PTA・青少年指導員・単体老人クラブ
	2回目	8/27 (日)	南畑会館	26人	

池田	1回目	6/11 (土)	市民活動交流 センター	19人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・福祉施設・地域包括支援センター・自治会・中学校教頭・商工会議所・地域子育て支援拠点
	2回目	10/30 (日)	保健福祉総合 センター	17人	
五月丘	1回目	6/11 (土)	五月丘会館	21人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・小学校PTA・小学校校長・自治会・青少年指導員・学校開放委員
	2回目	10/15 (土)	五月丘会館	16人	
呉服	1回目	6/11 (土)	呉服会館	16人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・小学校校長・小学校PTA・2層生活支援コーディネーター・地域包括支援センター
	2回目	7/23 (土)	呉服会館	17人	
神田	1回目	6/5 (日)	神田会館	20人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・青少年指導員・スポーツ振興会・小学校校長・小学校PTA・中学校PTA・2層生活支援コーディネーター・地域包括支援センター・住民
	2回目	9/25 (日)	神田北会館	22人	
緑丘	1回目	6/5 (日)	鉢塚会館	20人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・小学校校長・2層生活支援コーディネーター・地域包括支援センター・子育てサークル・住民
	2回目	9/10 (土)	鉢塚会館	21人	
石橋	1回目	6/18 (土)	井口堂北会館	26人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・子ども会・スポーツ振興会・住民・福祉施設・地域包括支援センター・子ども食堂・2層生活支援コーディネーター・NPO・大学生
	2回目	8/27 (土)	井口堂北会館	18人	
北豊島	1回目	6/5 (日)	きたてしま プラザ	31人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・子ども会・住民・自治会・こども園・子育て教室・小学校校長・小学校PTA・中学校PTA・地域包括支援センター・子ども食堂・大学生
	2回目	7/24 (日)	きたてしま プラザ	12人	
石橋南	1回目	6/18 (土)	石橋会館	20人	地区福祉委員・民生委員児童委員・地域コミュニティ推進協議会・自治会・青少年指導員・商店街・助産院・小学校教頭・地域包括支援センター・子ども食堂・福祉施設・2層生活支援コーディネーター・NPO・大学生
	2回目	10/16 (日)	石橋会館	17人	

## [11] 災害時の体制整備

### (1) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

災害時に、災害ボランティアセンターがスムーズに設置・運営できるようにするため、毎年実施しています。今年度は、災害ボランティアに関するカードゲームを活用した図上訓練と、ダイハツ工業株式会社社員も参加した【災害ボランティア育成講座】のプログラムの一部として災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。

年月日	場 所	主 な 議 題	出席者
4.7.26	保健福祉総合センター 4階作業室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の災害ボランティアセンター運用事例についての報告</li> <li>・KINTONE によるボランティア登録の検証</li> <li>・カードゲームを用いた災害ボランティア運営マッチング体験(図上訓練)</li> </ul>	職員 12 人 行政 1 人
5.1.26	保健福祉総合センター 4階作業室	<b>【災害ボランティア育成講座】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアとは</li> <li>・災害時のボランティア活動と災害ボランティアセンター</li> </ul>	ダイハツ工業 社員 19 人 社協職員 4 人
	保健福祉総合センター 健康教育室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営訓練</li> </ul>	ダイハツ工業 社員 19 人 社協職員 11 人

### (2) 災害時対応訓練

令和 5 年 3 月 16 日に、業務時間外に災害が発生した想定し、職員による「災害時対応マニュアル」に沿った実地・シミュレーション訓練を行いました。

### (3) 災害時対応マニュアル及び事業継続計画(BCP)の見直し

昨年度策定した事業継続計画(BCP)の進捗状況確認と点検を行い、必要な部分に関して修正を行いました。

### (4) 災害時に備えた協定の締結

大規模災害発生時に社協は、市民や利用者のために必要不可欠な通常業務を継続しながら、災害ボランティアセンターの設置・運営を行う必要があります。限られた社協内部人材だけでなく外部の支援を受けて災害時対応を適切に行っていく必要があることから、外部団体との協定締結をすすめました。

- ・一般社団法人池田青年会議所と「災害時における協力体制に関する協定書」を取り交わしました。(令和 4 年 11 月 22 日)

## [12] 各種団体事務局

下記の団体事務局を担い、地域住民や各種団体等への啓発と事業推進に取り組みました。

### (1) 大阪府共同募金会池田地区募金会

#### ① 共同募金運動

令和4年10月から11月まで、各自治会・学校・団体・福祉施設の協力を得て、戸別募金・一括募金・学校募金を実施しました。今年度は、新たに石橋商店会・サカエマチ商店会より計30店舗の協力がありました。また、五月山公園売店ではガチャガチャ募金を実施しました。街頭募金では、池田市民生委員児童委員協議会・池田エイフボランティアネットワーク・宣真高等学校・地区福祉委員会より参加協力があり、阪急池田駅・石橋駅において4日間実施しました。ご協力いただいた募金は社会福祉施設・社会福祉団体・災害支援等に配分され地域福祉の推進に活用しました。令和4年度募金総額：2,498,641円

#### ② 歳末たすけあい運動

令和4年12月、各自治会・学校の協力を得て、戸別募金・一括募金・学校募金を実施しました。阪急池田駅・石橋駅において街頭募金を3日間実施し、池田市民生委員児童委員協議会、地区福祉委員会、池田市断酒会、ボーイスカウト池田第1団の参加がありました。また、池田市役所全課からも参加協力がありました。ご協力いただいた募金は、市内の障がい者施設・保育所・当事者団体・子ども食堂などへ配分し、福祉活動を支援しました。令和4年度募金総額：2,261,885円

### (2) 日本赤十字社大阪府支部池田市地区・池田市赤十字奉仕団

自然災害への支援活動、血液製剤を安全安定的に供給するための血液事業、医療事業などを担う日本赤十字社の池田市地区における事務局を担っています。地域の自治会町会や池田市高齢・福祉総務課、危機管理課、消防本部等と連携し、啓発活動や活動資金募集などの事業に取り組みました。

・令和4年度活動資金募集実績 2,389,411円

(協力数：自治会町会72、個人4、団体1)

- ・国内義援金海外救援金の受付(14種類)、市内公共施設に募金箱設置
- ・赤十字防災デーの開催(秦野小学校合同防災訓練にて展示コーナー出展)
- ・市民向け講習会の企画(幼児安全法講習会4回、参加者のべ55人)
- ・災害備蓄品等の整備(池田市、池田市保健福祉総合センター)

### (3) 池田市献血推進協議会

大阪府では、輸血用血液を1日1,100人分必要とし年々需要が高くなっていますが、新型コロナウイルス感染症拡大により、協力者数が減少していました。

献血推進協議会では、献血の重要性を広く市民に訴え、1人でも多くの方から協力を得られるよう、広報紙・ホームページ・ポスターやチラシの掲示、市民向け説明会、街頭啓発の実施などにより献血意識の向上に努めました。

また大阪府赤十字血液センターと連携し、移動採血車の手配・献血実施場所の確保と調整のコーディネート業務を担いました。実施に当たっては、市内の小中学校・高等学校・企業・公共施設・団体等から多数の協力協賛があり、その結果、令和4年度、市内での献血実施回数は計65回、献血者数は延べ2,344人となりました。

## [13] 寄附者

○一般寄附金

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	金 額(円)	備 考
1	4.5.12	池田市日本中国友好協会	39,000	
2	4.5.18	おおむち診療所	100,000	
3	4.6.23	匿名	50,000	
4	4.6.29	匿名	70,000	
5	4.11.9	匿名	400,000	
6	4.11.10	匿名	100,000	
7	4.11.25	匿名	500,000	
8	4.11.28	匿名	30,000	
9	5.2.6	匿名	100,000	
10	5.3.23	NADIX株式会社	50,000	
11	5.3.31	株式会社阪急オアシス	194,230	
合 計			1,633,230	

## 2. 善意銀行運営事業

### (1) 善意銀行寄附金

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	金 額(円)	備 考
1	4.4.4	岡部 隆二	10,000	
2	4.5.20	匿名	4,000	
3	4.6.23	池田の市民朝市実行委員会	20,000	
4	4.10.5	匿名	1,000,000	
5	4.11.17	匿名	20,000	
6	4.11.25	匿名	200,000	
7	4.12.23	匿名	20,000	
8	5.3.9	匿名	2,441	
9	5.3.23	池田市立呉服小学校4年生	20,005	
合 計			1,296,446	

### (2) 善意銀行寄附物品

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	寄 附 物 品
1	4.4.4	岡部 隆二	ハガキ、切手
2	4.5.20	匿名	商品券
3	4.6.9	ダイハツ工業(株)	お菓子等食品 36 箱
4	4.6.17	生活協同組合コープこうべ	お米 50 kg
5	4.9.1	生活協同組合コープこうべ	お米 54 kg
6	4.9.13	大阪北部農業協同組合	おかゆ 100 食
7	4.9.14	ふらっとイケダ	お米 30 kg
8	4.9.28	(株)ダイエー池田駅前店	カップ麺 240 個
9	4.11.10	生活協同組合コープこうべ	お米 54 kg
10	4.11.11	ダイハツ工業(株)	お米、缶コーヒー 計 13 箱
11	4.11.29	ダイハツ労働組合	食品 646 点
12	5.1.17	ダイハツ工業(株)	お菓子類
13	5.2.10	生活協同組合コープこうべ	お米 54 kg
14	5.2.22	(株)ダイエー池田駅前店	カップ麺 288 個



### 3. 地域福祉事業

#### [1] 地区福祉委員会活動

地区福祉委員会は、住民が主体となって「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を進めるために、概ね小学校区ごとに組織されており、池田市内の 11 地区に設置されています。大阪府の「小地域ネットワーク活動推進事業」により、11 地区すべてが行政・福祉関係者などと連携しながら、グループ援助活動・個別援助活動に取り組んでいます。

今年度も、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動中止や内容変更をすることがありました。その中でも、今できる工夫を重ねながら地域福祉活動に取り組むとともに、誰もが住みよいまちづくりの推進に取り組みました。

##### (1) 活動支援業務

(回)

運営に関する相談	企画	会議・研修・活動参加	地区活動の対応	広報	研修(講師)依頼関係	地区以外の問い合わせ	その他	合計
227	173	179	178	65	9	26	457	1,314

##### (2) 各地区福祉委員会の活動

秦野	委員長	奥村 都志子	委員数	60 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「ふくし秦野」56 号 57 号(各 6,000 部)全戸配布 「秦野地区福祉委員会紹介」(1,100 部)会員配布			
高齢	ふれあいサロン(3 か所)		らくだクラブ	
子育て	子育てサロン		ラ・クーダのイベントに協力	
青少年	登校見守り		秦野小学校へ出前授業	
障がい	クリーンウォーク		アルミ缶回収に協力	
	お楽しみ会			
見守り	組織的な見守り・声かけ			
その他	「あおぞら de はたのフェスタ」の協力(委員会 PR と伝承遊びコーナ設置)			
委員研修	支援活動のあり方について		福祉委員として知っておくとよい情報	
市民研修	雪印メグミルクより「プラス乳製品セミナー」			

北豊島	委員長	大井 文夫	委員数	68 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「福祉きたてしま」(5,400 部)全戸配布			
高齢者	ふれあいサロン(4 か所)		配食(4 回)	
	敬老お祝品配布			
子育て	子育てサロン			
	子育て支援拠点てしまの森誕生日会の手伝い			

世代間	ミニバザー	
その他	男性料理教室	バザー手作り準備の会
見守り	組織的な見守り声かけ	

<b>細河</b>	委員長	平田 裕司	委員数	25 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「ふくしほそかわ」68号 69号(各 1,600部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(4か所)	ポプラ秋祭り協力		
子育て	子育てサロン	子育て支援拠点ホップくん協力		
世代間	グラウンドゴルフ			

<b>石橋南</b>	委員長	西岡 義晃	委員数	38 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「ふくし石橋南」53号(5,600部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)	お見舞い品配布		
子育て	子育てサロン			
青少年	校区内パトロール	石橋まつり警備		
世代間	石橋南小生徒へプレゼント配布		キッズランド協力	
	歳末防犯餅つき大会協力			
障がい	ボーリングとお弁当配布	クリスマスプレゼント配布		
その他	清掃活動			
見守り	組織的な見守り声かけ			

<b>緑丘</b>	副委員長	前田 敏	委員数	21 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「みどり」40号 41号(各 4,300部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)			
子育て	子育てサロン			
世代間	おしゃべりサロン			

<b>呉服</b>	委員長	尾川 由紀恵	委員数	70 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「福祉くれは」104号(6,340部)105号(6,400部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)	自治会・町会単位のふれあい活動		
子育て	子育てサロン			
青少年	下校時見守り			
世代間	おしゃべりサロン			
見守り	組織的な見守り声かけ			

石橋	委員長	村田 美代子	委員数	44 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「福祉いしばし」(4,300 部) 全戸配布			
高齢	ふれあいサロン	愛の一声運動		
子育て	子育てサロン	わたぼうしランド協力		
青少年	石橋小児童の登校見守り	キッズランド協力		
	ナイトフェスタ協力			
世代間	おしゃべりサロン(2 か所)	石橋小学校納涼大会協力		
	高齢者への年賀状(石橋小 6 年生の協力)			
その他	清掃活動	ベルマーク整理活動		
	ワンコイン・ヨガ			
見守り	組織的な見守り声かけ	災害時要支援者訪問協力		

神田	委員長	上島 守	委員数	60 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	「会員だより」(600 部) 会員配布			
高齢	ふれあいサロン	安否確認(配食)		
	歳末見舞品配布	ハートフル神田クリスマスプレゼント配布		
子育て	子育てサロン			
青少年	校区内パトロール			
世代間	いらっしやい	神田フェスタ協力		
	おしゃべりサロン「ほっこりサロン」(つながり・支え合い活動推進事業)			
その他	ラジオ体操の協力	フードパントリー		
見守り	組織的な見守り声かけ			

五月丘	委員長	村上 喬	委員数	19 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「福祉さつきがおか」(1,600 部) 全戸配布			
高齢	ふれあいサロン	健康体操		
子育て	子育てサロン			
世代間	ファミリースイーツ教室(つながり・支え合い活動推進事業)			

池田	委員長	久谷 邦夫	委員数	70 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「池田校区ふくし」57 号 58 号(各 8,000 部) 全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(3 か所)	はがき配布		
	配食	塩あめ配布		
子育て	子育てサロン			
青少年	池田小登校時見守り			

世代間	おしゃべりサロン	七夕撮影会
	カラオケサロン	ハロウィン撮影会
その他	男性料理教室	
見守り	組織的な見守り声かけ	
委員研修	子どもと教育について	

伏尾台	委員長	野口 修	委員数	51 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「ふくし伏尾台」11月1日号3月1日号(各2,300部)全戸配布 ホームページ「伏尾台で暮らす。」に掲載			
高齢	ふれあいサロン	いきいき百歳体操		
	カーボランテア	ウォーキングの会		
	ワンコインたすけあい	車いす貸出		
	マシュマロの会			
子育て	子育てサロン			
青少年	青パト事業	登下校時見守り隊		
	花いっぱいプロジェクト事業協力	ほそごう学園「人権総合学習」協力		
	スマイルファクトリー芋ほり協力			
世代間	おしゃべりサロン(3か所)	夏休みラジオ体操		
	おしゃべりサロン(2か所)(つながり・支え合い活動推進事業)			
	フリーマーケット			
その他	ラジオ体操(3か所)	清拭布づくり		
	花の会	清掃活動		
	花の学習会	男性料理教室		
	フードパントリー	フードドライブ		
	ほそごう秋祭り合同防災訓練			
見守り	組織的な見守り声かけ			

### (3) 地区福祉委員長会

各地区福祉委員会から代表者が集まり、社協からの情報提供と地区間交流などを図りました。

回	年月日	主な議題	出席者(人)
1	4.5.19	① 令和4年度委員長会会長・副会長の紹介 ② 小地域ネットワーク活動推進事業助成金について ③ 令和4年度つながり・支え合い活動推進事業助成金について ④ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ⑤ 住民懇談会について ⑥ 情報共有(各地区の活動状況について)	17

2	4.7.21	① 社協会員会費について ② 「食でつながる共生のまちいけだ」について ③ 情報共有(各地区の活動状況について)	17
3	4.9.15	① 社協会員会費還元金について ② 赤い羽根共同募金街頭募金のお願い ③ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ④ 情報共有(各地区の活動状況について)	16
4	4.11.17	① 社協会費還元金交付について ② 赤い羽根共同募金街頭募金の報告、歳末たすけあい街頭募金のお願い ③ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ④ 今後の予定、資料について ⑤ 情報共有(各地区の活動状況について)	17
5	5.1.19	① 歳末たすけあい街頭募金報告 ② 社協会費還元金交付について ③ 令和4年度事業報告書・決算書、令和5年度事業計画書・予算書 ④ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ⑤ 情報共有(各地区の活動状況について)	16
6	5.3.16	① 社協会費募集状況について ② 小ネットかわら版 23 号の配布 ③ 「食でつながる共生のまちいけだ」の事業について ④ 令和5年度の事務局体制について ⑤ 次期の理事推薦について ⑥ 情報共有(各地区の活動状況について)	18

## [2] 小地域ネットワーク活動推進事業

大阪府と市の補助事業として行っている本事業は、地区福祉委員会単位で、地域に住む要援護者が安心して生活できるように、地域住民による助け合い活動を展開し、あわせて地域における福祉の啓発と住みよい福祉のまちづくりを進めるものです。

具体的な方法として、地区福祉委員会で進める個別援助活動とグループ援助活動があり、社協はその推進を援助しています。

### (1) 各地区の活動状況

#### ○グループ援助活動

	ふれあいサロン		子育てサロン		おしゃべりサロン		男性料理		世代間交流		障がい者(児)		昼食会		その他	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
秦野	26	395	17	336	0	0	0	0	0	0	3	38	0	0	8	117
北豊島	40	386	18	202	0	0	4	46	1	100	0	0	0	0	0	0
細河	23	135	10	22	0	0	0	0	1	38	0	0	0	0	0	0
石橋南	28	249	9	191	0	0	4	33	38	300	2	29	0	0	0	0
緑丘	20	510	9	47	14	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

呉服	35	114	11	209	10	103	0	0	0	0	3	112	0	0	0	0
石橋	10	257	21	256	22	103	0	0	0	0	0	0	0	0	19	215
神田	43	469	17	279	0	0	0	0	4	186	0	0	0	0	0	0
五月丘	11	90	11	32	4	27	0	0	0	0	0	0	0	0	43	562
池田	30	306	10	20	12	190	1	9	2	210	0	0	0	0	0	0
伏尾台	152	1,403	18	66	32	196	1	6	13	711	0	0	0	0	336	4,043
合計	418	4,314	151	1,660	94	687	10	94	59	1,545	8	179	0	0	406	4,937

○個別援助活動

(人)

	対象者数	活動者数	見守り・声かけ	外出介助	買い物	家事援助	配食	その他
秦野	166	36	10,821	3	20	164	407	8
北豊島	325	49	3,821	56	3	28	480	121
細河	0	0	0	0	0	0	0	0
石橋南	873	40	2,010	0	0	0	0	0
緑丘	0	0	0	0	0	0	0	0
呉服	1,234	71	3,882	31	202	350	178	678
石橋	53	14	2,133	122	15	0	312	0
神田	242	16	1,610	25	2	0	3	26
五月丘	0	0	0	0	0	0	0	0
池田	410	59	5,207	9	40	49	69	72
伏尾台	79	30	894	921	7	20	3	103
合計	3,382	315	30,378	1,167	289	611	1,452	1,008

(2) 小地域ネットワーク活動推進委員会

年月日	主な内容	参加者(人)
5.1.31	正副委員長の紹介 自己紹介 秦野地区福祉委員会の事例報告 ＝個別援助活動を中心とした、小地域ネットワーク活動の取り組みについて＝ 近況報告と情報交換	19

(3) 広報啓発活動

- ホームページによる周知
- 子育てサロン MAP、ふれあいサロン MAP、おしゃべりサロン MAP の発行
- 公式 YouTube チャンネルでの動画公開
  - ・石橋地区ふれあいサロン コーラス・ミニコンサート 1回
- 小ネットかわら版の発行(2,000部)

小地域ネットワーク活動を推進している地区福祉委員会や関係者に対し、活動目的について共通認識を持ってもらうとともに、各地区の実践事例を紹介し、活動の参考にしてもらうために、毎年発行しています。今回は、令和5年度からスタートする第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画の資料編に掲載される、11地区(小地域)の「地区活動計画」の概要を掲載しました。

号	年月日	主 な 内 容
23 特 別 号	5.3.16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おたがいさま」でつながる共生のまち・いけだをめざして</li> <li>・池田市がめざす包括的な支援体制</li> <li>・11地区活動計画(概要)</li> </ul>

### [3] つながり・支え合い活動推進事業

年齢、障がいなどに関係なく、だれもが参加できる出会いの場、住民同士の出会いとつながり、支えあいの場を増やすこと、また、その活動が継続的に推進できるよう、平成30年度に創設しました。

地区名	名称・開催日時	年間 回数	延べ人数	
			参加者	スタッフ
神田	「ほっこりサロン」 毎月第3(木)10:00～11:30	10	193	40
五月丘	「ファミリースイーツ教室」 不定期 10:00～12:00	4	27	11
伏尾台	「ティーサロン2丁目北」 毎月第1・3(火)10:00～12:00	19	138	75
	「ティーサロンビューハイツ」 毎月第3(火)10:00～12:00	12	86	12

## 4. ボランティアセンター事業

### [1] ボランティアセンター

ボランティア活動をしたい方とボランティアに来てほしい方や団体をコーディネートするとともに、ボランティアの育成や啓発などを行いました。

#### (1) 需給調整業務

##### ① 内容別件数 (件)

活動希望	活動依頼	相談・問い合わせ	その他
28	42	594	76

##### ② ボランティア活動希望者内訳

###### (A) 年齢・男女別 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男	1	1	0	0	1	3	1	0	7
女	4	1	0	2	1	6	5	2	21
計	5	2	0	2	2	9	6	2	28

###### (B) 希望内容(複数回答) (件)

	活動内容分類	件数	主な内容
1	何か役に立つ活動をしたい	12	自分にできることなら何でも、掃除など
2	趣味・特技をいかした活動	10	マジック披露・楽器演奏披露
3	保育・子どもに関わる活動	3	保育V、フリースクール、子ども食堂など
4	高齢者に関わる活動	5	高齢者施設でのお手伝い、傾聴活動
5	国際関係活動	2	外国人にかかわること日本語Vなど
6	障がい者に関わる活動	1	障がい者施設のお手伝い、手話Vなど
	合計	33	

###### (C) 登録ボランティア延べ人数 (人)

	個人	グループ	合計
男	26	224	250
女	55	424	479
計	81	648	729

##### ③ ボランティア活動依頼内訳

###### (A) 依頼者数

###### <個人> (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男	0	0	0	0	0	0	1	0	1
女	1	0	0	0	0	0	0	2	3
合計	1	0	0	0	0	0	1	2	4



<団体>

(件)

ボランティア グループ ・団体	福祉施設	行政機関	包括	支援 学校	学校	医療 機関	その他	合計
15	7	1	0	0	13	0	2	38

(B) 依頼内容

(件)

依頼内容	件数	主な内容
外出	2	
通院・通所・通学介助	1	通院時の付き添い
外出・旅行介助	1	デイサービスでの補助
運転ボランティア	0	
生活介助	1	
家事援助・身体介助	0	
入浴・入浴後の介助等	0	
その他	1	高校生(知的障がい)の授業生活補助
友愛活動	17	
保育・遊び相手	2	ツナガリエ、子育て支援拠点での一時保育
話し相手・安否確認	1	個人宅での傾聴・お話し相手
イベント手伝い	4	子ども食堂イベント補助、身障スポレク補助、 スポーツフェスタ
出し物披露	4	デイサービス、高齢者施設、サロンでの演奏
将棋・囲碁などゲーム相手	1	施設での将棋や囲碁のお話相手
その他	5	子ども食堂での調理補助や学習支援
技能提供	12	
朗読・点訳・拡大本	1	視覚障がいがある方への教科書点訳
手話・筆記通訳	7	人事面談時手話通訳、式典手話通訳、当事者 会要約筆記、講座講師等
作業手伝い	0	
日曜大工	0	
日本語指導	0	
手芸・書道・折紙・体操等の 指導	2	書道教室の講師、表彰状の書写
その他	2	中学生への放課後学習支援、視覚障がい者 へインタビュー
小計	32	
その他	10	4年視覚障がい者交流授業:3校(内オンラ イン授業1校)、2年生聴覚障がい者交流事 業:2校、ボランティアについての授業:2校
合計	42	

## (C) 対応状況

(件)

依頼対応状況	件数
ボランティア紹介	34
制度等紹介	0
取り下げ	4
調整中	1
調整つかず	3
ボランティアと認められない	0
その他	0
合 計	42

## (2) ボランティア講座・研修会

講座名	実施日・期間	場所	受講者数	内容
手話ボランティア講座(入門)	4.5.2～ 4.11.16 毎週水曜日 計 18 回	共同利用施設池田駅前北会館	6	基礎的な手話の理論・技術を学び、手話ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師: 来宝博司氏
手話ボランティア講座(基礎)	4.5.26～ 4.12.8 毎週木曜日 計 23 回	保健福祉総合センター	2	基礎的な手話の理論・技術を学んだものが、さらなるレベルアップを図るための知識と技術を身につけ、ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師: 沼順子氏
点訳ボランティア講座	4.10.4～ 5.3.14 毎週木曜日 計 20 回	保健福祉総合センター	2	基礎的な点訳の理論・技術を学び、点訳ボランティアの育成を目的として開催 講師: 点訳サークル「むつらぼし」 向田恵理子氏、 近畿ビジョンサポート 海老澤弥生氏
要約筆記ボランティア講座	4.10.1～ 4.11.7 毎週月曜日 計 4 回	保健福祉総合センター	9	基礎的な要約筆記の理論・技術を学び、要約筆記ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師: 武縄睦美氏、 いけだ筆記通訳グループ「すみれ」
日本語ボランティア講座	4.11.26～ 5.2.4 毎週土曜日 計 8 回	保健福祉総合センター	28	外国人に対して日本語を教える方法を学び、日本語ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師: 大阪YWCA日本語教師会 伊東和子氏
ボランティアきっかけ講座	4.6.24	保健福祉総合センター	1	これからボランティア活動を行おうとする方に対しての入門講座を開催
	4.10.26		2	講師: センターボランティアコーディネーター

## (3) 広報啓発

## ① 社協広報紙「いけだの社協」

令和4年度よりボランティアセンター情報紙「ふれあい」が社協広報紙「いけだの社協」と合併し、ボランティア部分の編集作業を実施しました。池田市広報への折り込みと公共施設、学校等へ配布。各号53, 900部発行しました。

号	発行日	主な内容(「いけだの社協」ボランティア部分抜粋)
180	4.5.1	1. 作業の会「せん」紹介 2. ボランティア講座のお知らせ、登録ボランティアからのお知らせ 3. 学生ボランティアプロジェクト、施設ボランティア募集
181	4.8.1	1. ボランティア講座のお知らせ、登録ボランティアからのお知らせ 2. 学生ボランティアプロジェクト、施設ボランティア募集
182	4.10.1	1. 学生ボランティアプロジェクト報告、 2. ボランティア講座のお知らせ、ボランティアセンター場所について 3. 施設ボランティア募集、登録ボランティアからのお知らせ、
183	5.2.1	1. ボランティアグループ「スポイの会」紹介 2. 「スポイの会」の活動の様子 3. ボランティアセンターからのお知らせ、施設ボランティア募集、登録ボランティアからのお知らせ

## ②センターホームページの運営

定期的に更新を行い、市民へのボランティア情報提供を行いました。

## ③Facebook の掲載

作業の会「せん」等、ボランティア募集を Facebook にて行いました。

## ④登録ボランティアへのメール配信

フードパントリーのボランティアについて、センター登録ボランティアの方々へメール等でボランティアの募集をしました。

## ⑤チラシの作成とラックへの配架

センター収集物について、作業の会「せん」、心をつなぐ電話のチラシを作成しました。また、本会の窓口ラックにチラシを配架、ダイエー池田駅前店にご協力いただき、ラックに「池田市ボランティアセンター登録ボランティアグループ一覧」とボランティア募集チラシを配架しました。

## (4) 登録ボランティアグループ・ボランティア連絡会への支援

センター登録36グループ並びにボランティア連絡会に対し、以下の内容について支援を行いました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ運営や助成金申請などの相談</li> <li>・センター分室の貸出(152件)</li> <li>・コピー機の貸出(有料)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡BOXとロッカーの貸出</li> <li>・備品貸出(OHP、パソコンなど)</li> <li>・グループのメンバー募集や活動・イベントのPR</li> </ul>
--	--

センター登録ボランティアグループ一覧(令和5年3月末現在 36団体)		
種類	グループ名	
高齢者	池田傾聴「さつき」	傾聴ボランティア「心の倉庫」
高齢者・障がい者	ひつじ	
視覚障がい者	点訳サークル「むつらぼし」	拡大写本グループ「アイリス」
	池田声の図書	パソコン点訳会

聴覚障がい者	手話サークル「アゼリア」	ダイハツ手話部
	手話サークル「秋桜」	ボランティアサークル「フレンド」
	いけだ筆記通訳グループ「すみれ」	
子ども	保育ボランティア「だっこ」	
学生	宣真ボランティアサークル	
収集・リサイクル	古布の会	てるてるBOOK
国際交流	外国人サポート協会「スポイの会」	虹のポケット
	池田日本語ボランティア友の会	
趣味・特技	メロディー	むじかぞく
	ナツメロンズ	まいどハーモニー
	池田アマチュアマジシャンズ	ちゑの輪
	たのしいおりがみ	撮影マイスター倶楽部
	男・珈琲倶楽部	NPO 法人 若葉会
	園芸ボランティア「パンジー」	
その他	池田サラリーマンOB会	池田分かち合いの会ひかり
	NPO 法人 オアシス	シルバーアドバイザーいけだ
	アクティブ S-プラス	NALCわかばの会池田

#### (5) 会議等の開催状況

##### ① ボランティアセンター運営委員会

センターの活動、運営について協議検討を行いました。

年月日	主 な 議 題	参加者(人)
4.12.2	令和4年度上半期事業報告ほか	8
5.3.23	令和4年度事業報告ほか	10

#### (6) 収集活動

以下のものをセンターで収集し、各団体へ提供しました。

収集物	提供先	目的
毛糸、ハンカチネクタイ	ひつじ	作品を作成・販売し、障がい者とのレクリエーション費用などへ
古布	古布の会	病院や施設利用者の清拭布として
ベルマーク	ベルマーク教育助成財団	特別支援校および小規模校、または、災害被災校へ寄付として
古切手	社会福祉協議会主催居場所「つむぎ」	整理し、収集会社へ買い取っていただき、活動運営費に充てていく予定

#### (7) ボランティア総合補償制度受付

ボランティアや非営利有償活動中におこる様々な事故において、活動者を補償する保険の受付業務を行いました。

保険種類	取扱人数(人)
ボランティア活動保険	2,046
ボランティア・市民活動行事保険	15,809
非営利・有償活動団体保険	82
移送中事故傷害保険	4
合 計	17,941

## 〔2〕福祉教育の推進

児童・生徒の福祉意識を高めるために、学校での福祉教育を推進するため、市教育委員会と連携しながら、研修会や交流会・相談などを実施しました。

### (1) 学校への講師・ボランティアの派遣調整

市内小・中・高校教員からの要請により、福祉・ボランティア関連授業に対し、指導案や講師の調整、職員派遣などを行いました。

学年	実施校数 (校)	依 頼 内 容
小学2年生	2	聴覚障がいがある方による話・交流、手話指導
小学4年生	3	視覚障がいがある方による話・交流、ガイドヘルプ体験、点字指導
中学1年生	1	障がいを持った方をサポートする施設職員やボランティアのお話
高校1年生	2	障がい(視覚・聴覚・精神・身体・知的)を持った方々からのお話

### (2) 相談業務

市内小・中・高校教員との、福祉・ボランティア関係授業内容の相談などを行いました。

### (3) 池田市教職員研修会

市教育委員会と共催で、教職員向けの福祉教育・ボランティア学習の研修会を開催しました。

年月日	場 所	受講者(人)	内 容
4.10.28	教育センター	20	「学校でどのように福祉教育を教えるのか」 大阪教育大学 教育学部 特任教授 新崎 国広氏

## 5. ファミリー・サポート・センター事業

地域において、育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、有償で助け合う相互援助の会員組織である「いけだファミリー・サポート・センター」事業を、池田市からの委託事業として平成13年度から立ち上げてサービスを開始し、今年度も引き続き事業を実施しました。

2人配置されているアドバイザーは、サービスの依頼があると、近隣の援助者を探して事前に両者を引き合わせ(事前打ち合わせ)、双方が納得すればサービスが開始されます。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響がありましたが、去年度に比べると活動量は増加しています。

### (1) 事業実績(令和4年4月～令和5年3月)

#### ・新入退会者数

(人)

	依頼会員	援助会員	両方会員	合計
入会者数	83	28	7	118
退会者数(-)	74	3	12	89
前年からの継続会員数	586	236	73	895
合計	595	261	68	924

#### ・事前打ち合わせ・活動件数・活動回数・活動時間

事前打ち合わせ件数	活動件数	活動回数	活動時間
59件	348件	776回	1,550時間

#### ・活動内容別回数と時間

活動内容	件数(件)	回数(回)	時間(時間)
保育所・幼稚園の送り	11	37	38.5
保育所・幼稚園の迎え	79	202	244.0
保育所・幼稚園の送迎	0	0	0.0
保育所・幼稚園の登園前・帰宅後の預かり	38	56	86.0
留守家庭児童会の送り	0	0	0.0
留守家庭児童会の迎え	19	49	56.0
留守家庭児童会の送迎	0	0	0.0
留守家庭児童会の登園前・帰宅後の預かり	1	3	8.5
児童の送迎	61	140	170.0
児童の預かり	19	44	257.5
子どもの病後時の援助	0	0	0.0
保育所・学校等休み時の援助	1	4	19.0
保育所等施設入所前の援助	0	0	0.0
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	11	21	34.0
保護者等求職中の援助	1	1	4.0

保護者の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	12	28	43.5
保護者等の買い物等外出の場合の援助	83	170	534.0
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0	0	0
その他	12	21	55.0
合 計	348	776	1,550.0

## (2) 広報啓発活動

センター事業の趣旨を市民に周知するために、PR活動を積極的に推進しました。

### ・機関紙の発行

会員への情報提供と交流を目的として、機関紙「FAMILY SUPPORT 通信」第41号、第42号各1,000部を発行し、会員と関係者に配布しました。

### ・「広報いけだ」に会員募集記事掲載

「広報いけだ」に会員募集記事を掲載し、会員確保に努めました。

### ・出張説明会の開催

子育て支援拠点「くるぼん」参加者を対象に出張説明会を行いました。

### ・1歳半健診での説明

毎月実施される1歳半健診で、センター事業の紹介を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できませんでした。

## (3) 講習会・交流会

子どもの心身の発達に関する基礎知識と保育の留意点や事故予防についての知識を習得するための会員向け講習会を実施しました。

救命救急講習会については、今年度も1回目は日本赤十字社の赤十字幼児安全法短期講習会をいけだファミリー・サポート・センター救命救急講習会とみなし、実施しました。

また、イベントを通して会員同士の親睦を図り、情報交換や意見交換を行う場として、交流会を開催しました。

(人)

名 称	年月日	場 所	内 容	参加者数
第1回 会員基礎 講習会	4.8.8	保健福祉 総合センター	○保育の心 ○子育て支援サービスを提供するために 講師:池田市社協 職員	5 (保育:2)
	4.8.23		○子どもの世話 ○子どもの遊び 講師:池田市子育て支援課 保育士	6 (保育:0)
	4.9.5		○子どもの栄養と食生活 講師:いけだ在宅栄養士会 葉菜の会	8 (保育:1)
	4.9.21		○心の発達と保育者のかかわり 講師:池田市発達支援課 心理相談員	9 (保育:1)
第2回 会員基礎 講習会	4.11.10	保健福祉 総合センター	○保育の心 ○子育て支援サービスを提供するために 講師:池田市社協 職員 ○子どもの世話	3 (保育:0)

			○子どもの遊び 講師:池田市子育て支援課 保育士	
	4.11.17		中止	
	4.11.29		○心の発達と保育者のかかわり 講師:池田市発達支援課 心理相談員	3 (保育:0)
	4.12.13		○身体の発達と健康管理 ○安全・事故 講師:池田市健康増進課 保健師	1 (保育:0)
第3回 会員基礎 講習会	5.1.12	保健福祉 総合センター	中止	
	5.1.30		○子どもの栄養と食生活 講師:いけだ在宅栄養士会 葉菜の会 管理栄養士	6 (保育:1)
	5.2.7		○心の発達と保育者のかかわり 講師:池田市発達支援課 心理相談員	5 (保育:1)
	5.2.22		○身体の発達と健康管理 ○安全・事故 講師:池田市健康増進課 保健師	2 (保育:1)
第1回 救命救急 講習会	4.9.27	保健福祉 総合センター	○乳幼児の一次救命処置 ～赤十字幼児安全法短期講習会～ 講師:日本赤十字社大阪府支部指導員	7 (保育:2)
第2回 救命救急 講習会	5.1.19	池田市 消防本部	○いざというときに慌てないために ～普通救命救急講習会～ 講師:池田市消防本部 救急担当	6 (保育:0)
会員交流会	4.12.7	保健福祉 総合センター	○癒しの植物・多肉植物の寄せ植え 講師:KA 八田 清子さん	大人 15 子ども 2

※いずれの講習会・交流会も一時保育あるいは、子ども同伴可。

#### (4) 池田市子育て一時預かり利用券(ふくまる子ども券)給付事業利用状況

〔(1)の実績に含まれるものの中から抜出〕

池田市が保護者の育児不安及び負担を軽減し、育児疲れをリフレッシュすることで育児に前向きに取り組めるよう、満1歳から満3歳までの子どもの保護者に子育て一時預かり利用券(ふくまる子ども券)を配布する事業で、平成23年10月から開始されました。ファミリー・サポート・センターも一時預かり事業者として登録し、事業に協力しました。

・活動内容別回数と時間

活 動 内 容	件数(件)	回数(回)	時間(時間)
保育所・幼稚園の送り	1	2	2.0
保育所・幼稚園の迎え	11	34	43.0
保護者の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	6	11	18.0
保護者等の買い物等外出の場合の援助	37	54	154.0



保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0	0	0.0
その他	5	10	17.5
合 計	60	111	234.5

## 6. 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活がおくれるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものです。

援助の内容は、対象者の福祉サービス利用の手続きや利用料の支払(福祉サービスの利用援助)、年金受領や医療費・税金等の支払手続き(日常の金銭管理サービス)、年金証書・預貯金の通帳などを預かるサービス(書類等預かりサービス)があります。

### (1) 問い合わせ・相談援助件数 (件)

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	不明 その他		
問合せ件数	10	0	2	0	2	14
初回相談件数	14	1	3	0		18
相談援助件数	86	76	158	1		321
合 計	110	77	163	1	2	353

### (2) 契約・終了件数 (人)

対象者 事項	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合 計
昨年度末契約者数	7	5	10	0	22
今年度契約者数	6	0	3	0	9
今年度終了数(-)	4	1	2	0	7
年度末契約者数	9	4	11	0	24

### (3) 生活支援員活動件数(契約後活動件数) (件)

対象者 事項	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合 計
総活動件数	294	167	313	0	774
うち生活保護 受給者分	67	34	128	0	229

### (4) 広報啓発活動

○「いけだの社協」10月1日号に掲載

## 7. 大阪府生活福祉資金貸付事業

大阪府社会福祉協議会からの委託により、大阪府生活福祉資金貸付事業の相談・受付業務を行いました。

新型コロナウイルス特例貸付の緊急小口資金、総合支援資金の貸付は9月末で終了しました。代わって特例貸付の13年間に渡る償還が始まったのに伴い、支援が必要と考えられる借受人に対するフォローアップ支援事業を令和4年12月から行っています。

### (1) 福祉資金・教育支援資金

		申 込		貸付決定		備 考
		件数	金 額	件数	金 額	
福祉資金		2 件	4,430,000 円	2 件	4,430,000 円	
教育支 援資金	教育支援費	1 件	452,000 円	1 件	452,000 円	
	就学支度費	0 件	0 円	0 件	0 円	
合計		3 件	4,882,000 円	3 件	4,882,000 円	

### (2) 緊急小口資金(本則)

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
7 件	700,000 円	7 件	699,000 円	1 件は減額査定

### (3) 緊急小口資金(特例)

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
100 件	19,900,000 円	95 件	18,900,000 円	不承認 5 件

### (4) 総合支援資金(特例)

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
81 件	42,060,000 円	78 件	40,710,000 円	不承認 3 件

※総合支援資金(本則)・臨時特例つなぎ資金・不動産担保型生活支援資金(土地担保)は、申込・貸付なし。

### (5) 相談件数(来所・電話)

(人)

福祉資金	緊急小口 資金	教育支援 資金	総合支援 資金	不動産 担保	コロナ特例 (緊急・総合)	合計
65	85	25	17	4	905	1,101
					上記のうち フォローアップ	
					142	

## 8. コミュニティソーシャルワーカー設置事業

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)設置事業は、地域包括支援センターの圏域(4圏域)にそれぞれ4人のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域において、複合・複雑化した課題や、福祉制度やサービスにあてはまらない課題を抱えた方の相談に、分野にかかわらず対応しています。課題を抱えた方が地域で安心して生活するために、地域の方々や関係機関・団体と協働し、地域福祉活動のネットワーク化や、自立生活支援のための基盤づくりを行うなど、地域福祉の向上に努めました。

### (1) CSW の配置拠点と担当小学校区

区 分	担当小学校区	配置拠点
池田市北部	秦野小・ほそごう学園校区	社協
池田市中部	五月丘・池田小学校区	
池田市西部	緑丘・呉服・神田小学校区	
池田市南部	北豊島・石橋南・石橋小学校区	

### (2) 地域福祉の計画的な推進及びセーフティネット体制づくり

(回)

活動内容	計
市町村地域福祉計画の支援	3
住民懇談会の開催	22
住民活動のコーディネート	43
要支援者等の組織化支援	0
既存の公的サービス等との協働	568
研究・開発した新たなサービス	1
ケース検討会議	39
地域住民を対象とする研修会	10
各種サービスの利用申請支援	41

### (3) 支援を必要とする人等に対する見守り・相談

#### ○コミュニティソーシャルワーカーの各種研修会・事例報告等参加状況

CSW の役割についての啓発活動や、地域ネットワークづくりの必要性について、関係機関・団体等の会議や研修会へ参加し、事例報告や情報提供を行いました。

#### ○支援を必要とする人などからの相談

支援が必要な人からの相談を受け、状況を整理し、必要な制度やサービス、また、地域で活動する民生委員や地区福祉委員につなぎました。また、制度・サービスにつなぐりにくいケースや制度・サービスの狭間にあるケースなどについても、相談に応じ、課題解決に向けて積極的に活動を行いました。

また、LINE を使い、相談窓口機能や連絡手段として活用しました。

## ①相談対象者別 (件)

相談対象者	相談件数 (延べ)
高齢者	408
(うち)ひとり暮らし高齢者	129
(うち)高齢者のみの世帯	46
障がい者	818
(うち)身体障がい者	20
(うち)知的障がい者	47
(うち)精神障がい者	751
子育て中の親子	701
一人親家庭の親子	411
青少年	705
DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者	21
ホームレス	1
外国人(中国帰国者を含む)	25
その他	1,296
合 計	4,386

## ②相談内容別 (件)

相談内容	相談件数 (延べ)
福祉制度・サービスに関する相談	800
生活に関する身近な相談	1,772
健康・医療に関する相談	954
生活費に関する相談	544
就労に関する相談	478
財産管理・権利擁護に関する相談	92
消費者被害に関する相談	0
多重債務に関する相談	27
DV・虐待に関する相談	145
地域福祉活動・ボランティア活動に係る相談	552
住宅に係る相談	155
子育て・子どもの教育に関する相談	318
その他	91
合 計	5,928

## (4)居場所「つむぎ」

課題を抱えた当事者やその家族、住民、関係機関が集まる居場所「つむぎ」を設置し毎月1回(8月休み)開設しました。

年月日	参加者(人)	年月日	参加者(人)
4.4.12	10	4.11.8	10
4.5.10	6	4.12.13	12
4.6.14	7	5.1.10	3
4.7.12	5	5.2.14	8
4.9.13	9	5.3.14	6
4.10.11	7		

※5.2.14 は、サポステ(地域若者サポートステーション)の説明会を実施

#### (5) 池田市ひきこもり支援連絡会の開催

令和2年度から池田市内でのひきこもり支援の仕組みづくりを目的に池田市と合同でひきこもり支援連絡会を開催してきました。今年度は、令和5年度から開始となる第4期地域福祉計画・第5次地域福祉活動推進計画への移行を踏まえ、今までの経緯と今後の方向性及び、池田市におけるひきこもり等の支援について、相談支援の実務担当者で意見交換を行うための連絡会を開催しました。また、連絡会後には池田市内でのひきこもり支援の対応について、各相談支援機関へアンケート調査を行いました。

年月日	場 所	参加者(人)	内 容
5.2.10	池田市役所	24	『池田市におけるひきこもり等の支援について』 ・ これまでの経緯と地域福祉計画への移行について ・ 意見交換 ・ 連絡事項

#### (6) 広報啓発活動

- 民生委員児童委員定例会に出席。活動報告や役割、事例を説明

## 9. 食でつながる共生のまちいけだ

昨年度から、コロナ禍で様々な生活上の変化が起こる中で、「食」という誰もが関わるものを通じてあたたかなつながりを感じることができるよう、市内全域で各活動団体等が協力し合いながら、取り組みをすすめてきました。コロナ禍の影響以外にも、最近では物価高騰の影響で家計が苦しくなっている家庭も多くあることから、今年度も市民や企業、団体や学生など多くの協力を得ながら実施しました。

#### (1) フードドライブ

- ・市民より、のべ 149 件、食品数 1,225 点、
- ・企業・団体より、のべ 15 件、食品数 2,723 点

実施日時	名称	対象	場所	参加人数
4.6.1(水) 10:00～12:00	子育てフードパントリー	コロナの影響を受け、未就学児がいる家庭、またはひとり親世帯	保健福祉総合センター	14人
4.7.25(月) 14:00～16:00	学生フードパントリー	市内や周辺市町村に在住在学の中学・高校・大学生(短大生・専門学校・大学院生も含む)	保健福祉総合センター	5人
4.8.17(水) 10:00～12:00	自分でごはんを作ってみよう(ご飯を炊いておにぎりをつくる体験)	会場まで一人で行き帰りできる、小学生から中学生	保健福祉総合センター	13人
*8月22日(月)13:00～16:00に関連事業として、高校・大学生が小中学生の“勉強をみてもらう会”を実施。参加者:小学生5名、大学生・高校生9名				
4.9.26(月) 13:30～14:30	伏尾台・細河地区限定フードパントリー	伏尾台・細河地区にお住まいの方	ふらっとイケダ	19人
			旧伏尾台小学校	39人
4.10.6(木) 17:30～19:00	子どもがいる家庭向けフードパントリー	新型コロナウイルスなどの影響を受けている、高校生以下の子どもがいる家庭	保健福祉総合センター	31人
4.11.15(火) 11:00～12:00	フードパントリー	一般向け	保健福祉総合センター	31人
4.12.17(土) 11:00～12:00	子どもがいる家庭向けフードパントリー	新型コロナウイルスなどの影響を受けている、高校生以下子どもがいる家庭	保健福祉総合センター	32人
5.2.12(日) 13:00～14:00	フードパントリー	一般向け	石橋会館	48人
*大阪大学の学生団体「もったいないーと」が、“もったいない！フェス”を同時開催。(13:00～15:00)				
5.3.29(水) 10:00～12:00	自分でごはんを作ってみよう(ご飯を炊いておにぎりをつくる体験)	会場まで一人で行き帰りできる、小学生から中学生	ダイバシティセンター	21人

・コープこうべ豊中配送センターやダイエー池田駅前店より、月2回定期的に食品提供

## (2) フードパントリー

・地区福祉委員会やボランティアセンター登録ボランティア、学生ボランティア、民生委員児童委員協議会、子ども食堂、NPO、学校など多くの地域団体が協力し実施

## (3) 作業の会「せん」

・計11回(月1～2回)開催し、親子、大学生、障がい者、高齢者など延べ99人の方々が参加

- ・フードドライブで集まった食品の仕分けや子ども用エプロン等の布製品を作成  
(参加者の場所としての役割も担う)

#### (4) 心をつなぐ電話

- ・計59回活動し、対象者は5人、協力者は4人(ボランティアセンター登録グループ池田傾聴「さつき」)
- ・コロナ禍で、寂しさや孤立感を抱えている方々に、ボランティアが定期的に電話で訪問し、安否確認とつながりをつくる活動を実施

#### (5) 個別食料支援

- ・定期的な食料支援が必要と判断した方に対し、月1回程度食料支援を実施
- ・対象者はひとり親家庭、子育て世帯、学生など、18人のべ81回
- ・その他、関係機関で食料支援が必要と判断された方に対し、関係機関及び本人へ配布

#### (6) 広報啓発活動

- ・毎回、開催予告のため関係各所へのチラシ配布と掲示板への掲示を依頼
- ・開催予告と開催報告を社協ホームページおよび Facebook に掲載

## 10. 意思疎通支援事業

聴覚や音声、言語機能に障がいのある方で、公共機関に行くなどの日常生活のうえで必要な外出や、講演会や研修会などの各種行事に参加する場合にコーディネーターが相談を受け、手話通訳者や要約筆記者を派遣し、日常生活や社会参加を支援しています。

#### (1) 登録通訳者数

登録通訳者数	
手話通訳者	要約筆記者
11人	8人

#### (2) 利用状況

手話通訳		要約筆記	
実利用者数	派遣延回数	実利用者数	派遣延回数
5人	94回	4人	67回

## 11. 紙おむつ給付事業

在宅で常時紙おむつを使用されている高齢者に紙おむつの給付券を支給し、経済的な負担を軽減しています。池田市から委託を受けて実施しています。

・利用状況

対 象	利 用 者 数	利用累計月数
高 齢 者	101 人	805 月

## 12. 生活支援体制整備事業

高齢化が進む中、池田市に居住する高齢者が、住み慣れた地域で自立した日常生活が出来るよう、地域の生活支援サービスを担う事業者、団体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制を充実していくとともに、高齢者の社会参加の活動を一体的に推進し、構築していきます。

池田市からの受託事業として、平成28年11月より開始しました。第1層生活支援コーディネーターを社協に配置し中学校区ごとに第2層生活支援コーディネーター(他法人)を配置しています。

### (1) 第1層地域支え合い推進協議体委員会の開催

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者 (人)
1	5.3.22	保健福祉 総合センター	① 池田市地域支援課からの報告 ② 社会福祉協議会からの報告 ③ 令和4年度事業報告 ④ 令和5年度事業案について ⑤ 委員からの報告・意見交換	17

### (2) 第1層・第2層生活支援コーディネーター担当者会議の開催

生活支援コーディネーター間の連携を密に情報共有し、問題解決に取り組みました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者 (人)
1	4.4.14	保健福祉 総合センター	① 新メンバー紹介 ② 1層・2層 SC から報告 ③ 池田市地域支援課から報告	8
2	4.5.12	保健福祉 総合センター	① 2層 SC からの報告 ② 池田市地域支援課から報告	4
3	4.5.30	保健福祉 総合センター	① 「いけだ健康フェスタ」打ち合わせ ② 1・2層 SC との情報交換	5



4	4.7.14	保健福祉 総合センター	① 1・2層 SC からの報告 ② 移動販売について ③ 池田市地域支援課からの報告	7
5	4.9.8	保健福祉 総合センター	① 1・2層 SC からの報告 ② いきいきライフ阪急阪神からの報告 ③ 池田市地域支援課からの報告	8
6	4.10.13	保健福祉 総合センター	① 1・2層 SC からの報告 ② 池田市地域支援課からの報告	6
7	4.12.8	保健福祉 総合センター	① 1・2層 SC からの報告 ② 池田市地域支援課からの報告	6
8	5.1.12	保健福祉 総合センター	① 1・2層 SC からの報告 ② 池田市地域支援課からの報告	5
9	5.2.9	保健福祉 総合センター	① ダイエーから活動報告 ② 1・2層 SC からの報告 ③ 池田市地域支援課からの報告 ④ 令和5年度活動計画について	5

### (3) 第2層地域支え合い推進協議体委員会への参加

2層生活支援コーディネーターの会議・活動に出席し、課題整理や問題解決のコーディネートを2層の生活支援コーディネーターと行いました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題
1	4.11.14	保健福祉 総合センター	「山の手チーム」 ① メンバー紹介 ② 活動報告について ③ コープこうべ「買いもん行こカー」について ④ 情報交換
2	5.2.7	ほほえみの園	「えがおの会」 ① メンバー紹介 ② 活動報告について ③ フードパントリーについて ④ 認知症カフェについて ⑤ 情報交換
3	5.3.18	さくらそうデイ	「山の手チーム」 ① メンバー紹介 ② 活動報告について ③ コープこうべ「買いもん行こカー」について ④ 情報交換

### (4) 地域イベントへの参加

池田市や NPO などが主催する介護予防等に関連するイベントに生活支援コーディネーターが参加し、生活支援体制整備事業の周知・啓発・情報収集などを行いました。

回	年月日	場 所	主 な 内 容
1	4.6.25	池田市役所	いつも yobou いけだ 「健康フェスタ」
2	4.11.17	旧細河小学校	BOTAFES(ボタニカルフェスタ)
3	4.12.7	池田市内	いつも yobou いけだイベント 「イケダの地上絵まち歩き講座」
4	5.2.12	石橋商店街 (タローパン)	いつも yobou いけだイベント 「yobou カフェ」

#### (5) 研修会への参加

先進事例研究として、研修会に参加しました。

回	年月日	場 所	主 な 内 容
1	4.7.28	社協 ZOOM 会議	生活支援コーディネーター養成研修 (初任者研修)
2	4.10.21	社協 ZOOM 会議	令和4年度支え合いをひろげる住民主体の生活 支援フォーラム
3	5.1.24	なんば I-SITE	生活支援コーディネーター養成研修 (全体研修)

## 13. 有償協力員派遣事業(にじの会)

有償協力員派遣事業「にじの会」は、公的施策だけでは解決できない在宅福祉サービスのニーズに対して、住民相互の助け合いを基盤にして、有償による福祉サービスを提供することにより解決していくことを目的としています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、利用会員・協力会員双方の意向を確認の上、活動を続けました。

#### (1) 相談件数 (件)

内容	利用相談	訪 問
件数	71	69

#### (2) 会員数 (人)

	協力会員	利用会員	合 計
入会者数	9	23	32
退会者数(-)	3	1	4
前年からの継続会員数	28	91	119
合 計	34	113	147

(3) 内容別稼働件数・時間数

内容	掃除 洗濯含む	食事 作り	買い物	外出の 付き添 い	庭関係	代理 朗読 ・代筆	その他	見守り	話相手	合計
派遣件数 (件)	910	36	120	41	57	20	49	0	0	1,233
派遣時間 (時間)	1,160.5	64.5	65.5	137.0	94.0	35.0	87.5	0	0	1,644.0

(4) 広報啓発活動

○会員への情報提供と交流を目的に「にじの会だより」を1回発行

令和4年6月30日発行

(新担当紹介、感染防止対策、令和3年度の活動の振り返り、YouTubeチャンネル動画アップ)

○池田市社協広報令和4年10月号に協力会員の募集記事を掲載

(5) 有償協力員運営委員会開催状況

(人)

月 日	主 な 議 題	出席者数
5.3.10	①令和4年度の運営状況について	5

## 14. 訪問介護事業

### [1] 訪問介護事業(ホームヘルパー派遣)

訪問介護員(ホームヘルパー)が、介護給付対象者の自宅を訪問し、入浴・排泄・通院等の身体介護やその他生活全般にわたる援助を行い、可能な限りご自宅での生活を継続できるよう支援しました。

また、介護予防・生活支援サービス対象者には、生活機能向上を目的に、利用者ができることはご自身で行ってもらい、利用者ができない家事を援助することで、自立した在宅生活を継続できるよう支援しました。

#### ・利用状況－介護給付訪問介護対象者

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
身 体 介 護	35 人	408 回
生 活 援 助		1,748 回
混 合 型		690 回
計	35 人	2,846 回

#### ・利用状況－介護予防・生活支援サービス対象者

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
訪問型サービス	22 人	1,264 回

### [2] さわやかホームサービス

介護保険・障がい者総合支援制度になじまない支援(主に病院内での待機時間の付き添い等)を必要とする方にホームヘルパーを派遣しました。

#### ・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
さわやかホームサービス	9 人	50 回

## 15. 障がい者総合支援事業

### [1] 居宅介護(ホームヘルパー派遣)

障害者総合支援法に基づく介護給付対象者(身体障がい者、知的障がい者、障がい児、精神障がい者、難病等対象者)の自宅を訪問し、入浴・排泄・通院などの身体介護や、その他生活全般にわたる援助を行い、可能な限りご自宅で自立した生活を継続できるよう支援しました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
身 体 介 護	34 人	1,422 回
家 事 援 助		2,972 回
通 院 介 助		207 回
計	34 人	4,601 回

### [2] 同行援護(ガイドヘルパー派遣)

視覚障がい者に、社会生活上必要な外出や余暇活動等のための外出時に同行援護の資格を保有しているガイドヘルパーを派遣し、移動中の介助を行いました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
同 行 援 護	11 人	1,127 回

## 16. 移動支援事業

視覚障がい者以外の障がい者で屋外での移動に制限のある方に、移動支援で外出の介助を行いました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
移 動 支 援	12 人	225 回

## 17. 居宅介護支援事業・介護予防支援事業

### 〔1〕居宅介護支援事業

ケアマネジャーが利用者の心身の状態、本人・家族の希望、生活環境を勘案し、具体的な介護サービスの利用計画(ケアプラン)を作成し、サービス状況の把握、評価を行い、可能な限り在宅で生活できるよう支援しました。

なお、居宅介護支援事業は、令和4年9月末で事業を終了しました。ご利用者様には滞りなく、他事業所ケアマネジャーに引き継ぎを行いました。

#### ・利用状況

区 分	利用 者 数	利 用 延 件 数
ケアプラン作成	29 人	92 件
介護予防支援計画作成	10 人	20 件
介護予防ケアマネジメント		13 件

#### ・利用状況—介護給付対象者

区 分	ケアプラン作成件数	月平均ケアプラン件数
要 介 護 1	39 件	7 件
要 介 護 2	25 件	4 件
要 介 護 3	18 件	3 件
要 介 護 4	8 件	1 件
要 介 護 5	2 件	—件
計	92 件	15 件

#### ・利用状況—予防給付及び第1号事業の介護予防マネジメント

区 分	ケアプラン作成件数	月平均ケアプラン件数
要 支 援 1	9 件	2 件
要 支 援 2	12 件	2 件
事業対象者	12 件	2 件
合 計	33 件	6 件

### 〔2〕介護認定に伴う訪問調査

介護認定に伴う訪問調査を受託し、ケアマネジャーが訪問調査を行いました。

訪問調査件数	8 件
--------	-----

## 18. 障がい者地域生活支援センターひだまり

障がいのある方が住み慣れた地域で安心した生活を送れるように、相談支援専門員が必要な相談に応じ、情報提供や支援、福祉サービスの利用援助を行ないました。

また、計画相談支援に基づくサービス等の利用計画立案、定期的なサービス利用状況のモニタリング及びアセスメントを行い、適切な福祉サービス利用や計画の見直しを行いました。

名 称	実績件数
総合相談	1,653 件
サービス利用支援	66 件
継続サービス利用支援	87 件
障がい支援区分認定調査	5 件

## 19. 池田市さわやか地域包括支援センター

担当地区(池田・五月丘)の高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、社会福祉士、主任ケアマネジャー及び看護師等がチームを組み、介護予防ケアマネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業及び包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を実施しました。また、認知症や生活していくうえで支援が必要となった本人やその家族に早期に関わることができるよう普及・啓発活動を行うとともに、適切な医療や介護につなぐことができるよう支援を行いました。

### [1] 介護予防ケアマネジメント

要支援認定者及び事業対象者が、要介護状態になることを防ぐことを目的とし、介護予防ケアマネジメントを行いました。

#### ・介護予防ケアマネジメント業務

ケアプラン 作成人数	介護予防 支援計画	介護予防 ケアマネジメント	合 計
404 人 (324 人)	1,376 件 (1,024 件)	1,751 件 (1,401 件)	3,127 件 (2,425 件)

( ) 内は、委託分

## [2] 総合相談支援事業

高齢者本人や家族等から様々な相談を受け、情報提供、手続きの援助、関係機関への接続等を行いました。相談内容の多くは、介護保険制度や認知症に関するものでした。

また、相談業務以外に民生委員、地区福祉委員、関係機関等から情報提供をもとに高齢者の実態把握にも努めました。

区 分	相談延件数
相 談	1,149 件 (内、訪問 570 件)
実態把握	280 件 (主に独居・高齢者世帯)

## [3] 権利擁護事業

地域の全ての高齢者の権利を守り、尊厳を保ちながら、安心して生活ができるよう支援しました。身寄りがない認知症高齢者や経済、家族関係など複数の問題を抱えているケースの相談が増えています。

主な内容	相談延件数
1. 困難事例 2. 高齢者虐待 3. 成年後見制度 4. 消費者被害の防止	80 件

## [4] 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

個々の高齢者に対し、包括的かつ継続的に支援するために、地域との連携・協働の体制作りについて取り組みました。また、ケアマネジャーへの支援として、困難事例等への指導・助言、担当地区内7か所の居宅介護支援事業所を対象に勉強会を3回開催しました。

区 分	件 数
ケアマネジャーに対する個別指導	16 件
困難事例等への指導・助言	22 件

## [5] 池田市認知症初期集中支援推進事業

認知症初期集中支援チームとして、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築に取り組みました。

対象者人数
3 件



## [6] 地区での活動

お互いに相談しやすい関係作りを目的とし、地域へ出向き、地域住民との交流を図りました。また、認知症や介護予防について普及啓発活動を行いました。

### (1) 認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族をあたたく見守る「認知症サポーター」を増やすため、認知症サポーター養成講座を実施しました。

回	年月日	主な内容	場所	対象	参加人数
1	4.6.21	認知症の症状、診断、治療、接する時の心構え、サポーターにできること など	保健福祉総合センター作業室	市立池田病院職員	6人
2	4.6.28		保健福祉総合センター作業室	観光案内所職員	8人
3	4.8.8		市民活動交流センター	市民	10人
4	4.11.9		池田中学校	生徒	40人

### (2) ふれあいサロン

各地区のふれあいサロンに参加し、健康体操や脳トレ、介護についての相談や情報提供を行いました。

地区名	回数
池田	18回
五月丘	10回

### (3) 市民向け認知症勉強会

認知症について正しく知るための勉強会(オレンジ勉強会)を定期的に行いました。

回	年月日	主な内容	場所	参加人数
1	4.5.16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症について</li> <li>・介護保険について</li> <li>・周囲のかかわり方について</li> <li>・質疑応答 など</li> </ul> 具体例を交えながらの説明	保健福祉総合センター	9人
2	4.6.20			8人
3	4.7.26			3人
4	4.8.25			3人
5	4.9.20			2人
6	4.11.14			4人
7	4.12.26			1人
8	5.1.17			4人
9	5.2.16			3人
10	5.3.13			1人

#### (4) その他

内容	回数
認知症カフェ	4回
オレンジフェスタ(認知症啓発イベント)	1回
認知症家族会	1回

## 20.保健福祉総合センター管理運営事業

平成29年度より指定管理者として指定され、池田市保健福祉総合センターの管理運営を行いました。

指定管理者として6年目である令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなか、池田市による新型コロナワクチン接種会場の設置、会議室の利用人数の制限、センター共有スペースの利用制限、感染予防対策など、利用者によっては不便を強いる管理運営となりましたが、徐々に日常の生活が戻りつつあるなかで、センター利用回数及び利用人数は増加しました。そういった状況下で、誰もが安心して利用できる、地域に開かれたセンターの管理運営を行うとともに、感染予防対策を講じながら市民向け講座などを実施し、センターの利用促進と周知に努めました。

#### (1) センター利用状況

室名	定員	回数	利用者数(延)
大会議室	120人	0回	0人
会議室(1)	24人	0回	0人
会議室(2)	36人	0回	0人
会議室(3)	12人	0回	0人
講習会室	20人	0回	0人
健康教育室	84人	568回	16,052人
調理実習室	30人	62回	915人
計		630回	16,967人

※大会議室、会議室(1)、会議室(2)、会議室(3)、講習会室は、新型コロナワクチン接種会場となったため、使用不可。

#### (2) 行事開催状況

##### ① シニア向けスマートフォン体験講座

開催日	行事名	場所	参加者数
4.6.29	初めて触る！スマートフォン体験教室	保健福祉総合センター	16人

②初心者向けスマホ教室

開催日	行事名	場 所	参加者数
4.8.29	はじめてのスマートフォン 文字入力をマスターしよう	保健福祉総合センター	19 人
4.9.26	スマホで電話をしよう スマホでメールをしよう		16 人
4.10.27	スマホでカメラを使おう インターネットを楽しもう		13 人
4.11.28	アプリを楽しもう マップを使いこなそう		14 人
4.12.19	はじめてのスマートフォン 文字入力をマスターしよう		20 人
5.1.30	スマホで電話をしよう スマホでメールをしよう		20 人
5.2.27	スマホでカメラを使おう インターネットを楽しもう		19 人
5.3.27	アプリを楽しもう マップを使いこなそう		18 人

③こころとからだのリラクゼーション講座

開催日	行事名	場 所	参加者数(延)
4.4.8～ 4.5.13	第 1 期講座(全 5 回) からだをほぐしてバランスを整える I	保健福祉総合セン ター	34 人
4.5.27～ 4.7.1	第 2 期講座(全 5 回) からだをほぐしてバランスを整える II		42 人
4.7.15～ 4.8.19	第 3 期講座(全 5 回) からだをほぐして体幹を整える		40 人
4.8.26～ 4.9.30	第 4 期講座(全 5 回) 背骨をほぐして体幹を整える		37 人
4.10.14～ 4.11.11	第 5 期講座(全 5 回) 肩甲骨をほぐして体幹を整える		34 人
4.11.25～ 4.12.23	第 6 期講座(全 4 回) 骨盤をほぐして体幹を整える		23 人
5.1.13～ 5.2.10	第 7 期講座(全 5 回) 下肢をほぐして体幹を整える		39 人
5.2.24～ 5.3.24	第 8 期講座(全 5 回) ゆったり呼吸で体幹を整える		32 人

(3) 啓発活動状況

- ①ホームページの随時更新 (会議室空室状況の随時更新 など)
- ②各種資料の提供 (各種パンフレット、地域福祉に関する資料 など)

(4) その他実施状況等

① 新型コロナウイルス感染症への対応

- 手指消毒液の設置、非接触型温度計・消毒液の貸出、定期的な清掃及び消毒作業、受付窓口パーテーションの設置 など
- 会議室の利用休止及び利用人数制限
- 共有スペースの利用制限

(5) 新型コロナウイルス感染拡大による会議室利用休止等の状況

① 新型コロナワクチン接種会場となったことによる会議室利用休止

- 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 大会議室、会議室(1)、会議室(2)、会議室(3)、講習会室

② 新型コロナウイルス感染拡大による会議室の人数制限

- 令和4年4月1日～令和4年5月31日